

3-12 蒲生干潟見守り事業

事業目的

国指定鳥獣保護区特別保護地区及び県自然環境保全地域に指定されている蒲生干潟は、サーファーや釣り人など多くの方が利用し、ゴミの散乱や車輛の進入により、鳥類の営巣・採食・休息が阻害されています。

そのため、鳥類が安心して営巣・採食・休息できる場所を確保し、生物多様性の保全を図ります。

また、蒲生干潟の震災前後の既存データの取りまとめを行い、自然環境の実態を把握します。

事業内容

- (1) 鳥類の営巣環境及び希少植物保全
 - 車両等の進入を防止するため立入防止柵を設置する。
 - 干潟利用のマナー向上のための注意喚起標識を設置する。
- (2) 蒲生干潟の震災前後の基礎調査取りまとめ
 - 震災前後の既存データ収集及び取りまとめ
 - 現在の自然環境の実態調査

平成28年度事業費 2,000千円

事業効果

CO2削減効果	—
その他(干潟保全面積)	5ha



被災後の蒲生干潟周辺の航空写真(H24.8)

現状



バイク等が進入するなど、利用者のマナーの低下により、鳥の営巣・採食・休息が阻害されています。

税導入後のイメージ



干潟利用マナー向上のための、柵及び標識を設置するなど、鳥類が安心して営巣、採食、休息できる場所を確保します。